



ぐんま 県球連



2010.6.30

だより NO.8

群馬県野球連前橋市平和町一丁目4普及委員会 製作

第32回東日本軟式野球大会（1部）本県で開催：参加29チーム

5月21日から4日間 県内4会場（伊勢崎市野球場・高崎市城南球場・西毛総合運動公園野球場・前橋市民球場）で開催された 最終日は 雨天のため順延した準決勝・決勝戦は

8月8日上毛新聞敷島球場に延期された

ベスト四に残ったチームは SPANSION JAPAN(福島県)

燕オックス(新潟県)

太陽ステンレススプリングス(埼玉県)

王子製紙クラフトズ(愛知県)



選手 宣誓
各県の代表旗を従え

群馬県代表 岡野商店クラブ
佐藤祐司 主将



樺澤 千明・栗原 隆志 両審判員が
掲げ入場する プラカードにつづいて
全軟連旗を保持 行進する
長谷川 文男審判員
後から 国旗・大会旗・県連盟旗が行進

2010.05.21

平成22年度 定時総会 開催

群馬県野球連盟の定時総会が開催された 2月20日(土) (渋川市内 ホテル松本楼)
出席者 78名 委任状提出者 16名 代理出席者 5名 出席者総員 99名
会長より 議長に 高崎支部・理事長 堀口 利男氏が指名され 総会がスタート

報告事項・議決事項が審議され 原案通り 確認・承認された

尚 今年度の方針は モットーとして **「確実・集中・迅速」**



議長 堀口 利男氏

報告事項は下記の通り

- 群馬県体育協会会長賞 表彰候補者の推薦について
・ スポーツ功労者賞 副理事長・兼総務委員長・前橋支部長 有本 幸夫氏
・ 第64回国民体育大会軟式野球競技 準優勝監督・選手16名
- 強化チームの指定について(平成22年度)
太田市役所 高崎市役所
パナソニック電工朝日 サンデン
- 熟年の部のスパイクについて

議決事項

- 規約の一部改正案代行議決の承認について
組織のさらなる充実 強化を図るため規約第22条第5項の規定に基づき 常任理事会で規約の一部改正を代行議決し平成21年12月1日付けで施行

群馬県の平成22年度登録チーム数

成年A	90	壮年	162
成年B	219	熟年	100
成年C	685	還暦	60
少年	312		
中学	184	合計	1,812

事業計画の抜粋

成年の部 Aクラス格付けおよびクラス昇格の基準内規について

- * Aクラス格付け基準内規
 - 1 技量, 実力, マナーが支部を代表するチームであること
なお, 他支部のレベルも考慮すること
 - 2 全国大会(天皇賜杯大会・国民体育大会)を目指すチームであること
 - 3 県軟式野球界のリーダーとしての自覚と誇りをもつチームであること
- * クラス昇格基準内規
 - 1 高松宮賜杯全国大会で準々決勝戦に進出したとき
 - 2 東日本大会で準決勝戦に進出したとき
 - 3 高松宮賜杯県大会予選に2年連続出場又は東日本県予選会に3年連続出場したとき

登録チーム名について

- ① 同一職場に勤務する者が大会参加人員の三分の二未満のチームは職域チームではなくクラブチームとなるので, チーム名はクラブ名とすること
- ② チーム名は ユニフォームの胸マーク以外は日本字(漢字・ひらがな・カタカナ)で表記すること
ただし JT JR NTT等の企業の名称・略称は 日本字・ローマ字どちらでも良い

県大出場チームに対する指導について

次の事項について 支部において徹底した指導を行うことをお願いいたします

- ① 大会実施要綱及び全軟連・本連盟の諸規定を選手等チーム関係者全員に徹底を図ること
- ② 大会プログラム用広告の募集には 必ず強力すること
なお広告原稿は既存のもの又はそのまま写真製版出来るものとする
- ③ 大会参加申込及び広告原稿の締切期日を厳守すること
(締切日までに申込書 広告原稿の提出がない場合は不参加として処理する)
- ④ ユニホームの左袖は 日本字またはローマ字で「群馬」をつけること
- ⑤ ユニホームのパンツは ストッキングが踝の上約10センチ以上見えるように着用すること
また すそ幅のひろい ストレートタイプのパンツは着用を禁止する
- ⑥ 捕手は危険防止のため ファウルカップを着用すること

球春を控えて（準備）

平成22年度 審判研修会 吉岡文化センター 2月7日(日)

審判員の技術向上をはかり もって野球の普及発展を図ることを目的に
県内審判員 490名 が参加し 野澤審判部長のもと開催された

- | | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------|
| 審判部長 野澤 晋也より | 前年度の反省(タイムについて デットボール(ヒット・バイ・ピンチ)について
外野飛球の見方等 |
| 技術指導員 飯塚 実より | アンパイヤーリング(プレイの予測・ポジショニング・コール等) |
| 技術指導員 星野 光広より | 試合に臨むための心得(用具の点検・余裕を持ってグラウンドへ・
試合前の準備・試合後の反省等) |
| 技術指導員 長谷川 文男より | 試合中の心得(ボールから目を離さない・プレーの結果を予測しない
抗議を受けることを恐れてはならない スピーディーな試合運びに心がける) |

今年の目標 「ジャッジは明るく 元気に心をこめて
正しい野球の普及へ！」

審判技術講習会 2月11日(木) 上毛新聞敷島球場

県内14支部から 80人が参加し 審判に必要な基礎技術をまなんだ

強化委員会の紹介 強化チームの競技力向上に努力しています

- | | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員長 久我 敏雅 | 桐生市役所 元三塁手
奈良わかさ国体 山梨がいじ国体に選手で出場
第40回天皇賜杯全日本大会(熊本県)に選手として出場 |
| 副委員長 大島 和幸 | 日体協公認のスポーツ指導者(公認軟式野球コーチ)
元群馬酒造 内野手
第47回山形べにばな国体に監督で出場 |
| 岩佐 英臣 | 元新町役場 捕手
第53回天皇賜杯全日本大会(高知県)コーチとして出場
第58回天皇賜杯全日本大会(徳島県)監督として出場
第58回静岡わかふじ国体に監督として出場 |
| 星野 光広 | 日体協公認スポーツ指導者(公認軟式野球コーチ)
第63回天皇賜杯全日本大会[埼玉県]派遣審判員として出場
第65回ゆめ半島千葉国体に派遣審判として出場 |
| 酒井 浩一 | 元JT高崎 一塁手
第41回 42回天皇賜杯全日本大会(福島・広島県)に選手として出場
第46 47 48 49 50 51 52 56回天皇賜杯全日本大会に監督として出場
* 第49回大会(宮崎県)で優勝監督
第49回わかしやち国体(愛知県)に監督として出場 |
| 小板橋 昌行 | 元佐田建設 投手
第50回天皇賜杯全日本大会(山口県)に選手として出場
第54回くまもと未来国体に選手として出場 |
| 小林 秀夫 | 元桐生市役所 捕手
第39回奈良わかさ国体に選手として出場
第40回天皇賜杯全日本大会(熊本県)に選手として出場
第41回山梨がいじ国体に選手として出場 |

* A クラス監督・選手強化研修会

平成22年度の Aクラス監督・選手強化研修会が開催された
参加 140名 2月6日(土)・7日(日)
高崎ビューホテル

特別講演で 群馬ダイヤモンドペガサス監督 秦 真司氏 から
「バッテリーの強化について」
お話をいただき 参加者が真剣に話に聞きいていた



秦 監督 略歴

徳島県 鳴門市出身
鳴門高校
法政大学
ヤクルトスワローズ
日本ハムファイターズ
千葉ロッテマリーンズ

1984年 ロスアンゼルスオリンピックの
野球日本代表として出場し
金メダル獲得

講義では

太田市役所 青田 晃一監督より「全国大会に参加して」

星野 光広 強化委員より「ルール解説」特に妨害について説明

大島 和幸 副委員長より 平成22年度の目標
「バッテリー及び体力・精神力を強化し
勝つことに集中・執着する」

参加者全員で目標の達成に努力することを確認 終了した

定期強化

遠征強化試合

静岡県に次のとおり遠征する

* 第一次 3月20日(土)・21日(日)

高崎市役所・パナソニック電工朝日 派遣

* 第二次 3月27日(土)・28日(日)

太田市役所・サンデン 派遣

* 選手負担金 一人 5,000円

国体強化 (国体関東ブロック大会)

① 強化練習 7月 8月 20日間

② 強化試合 7月 6試合 8月 2試合

以上の事業など 計画 提案 助言をして県軟式野球の発展とレベルアップに寄与しています

競技委員会の紹介

委員会の所掌業務は

- ① 大会の企画・運営に関すること
- ② チーム・選手等顕彰事業に関すること
- ③ 公認野球規則、競技者必携の徹底に関すること
などです

競技委員長	渋谷 栄(安中)	競技副委員長	小暮 修(事務局)
	金沢 公一(事務局)	住住 洋一(安中)	宮崎 貞夫(吾妻)
	五十嵐久志(伊勢崎)	戸黒 努(太田)	石倉卯佐巳(邑楽)
	蓼沼 謙二(桐生)	飯塚 裕(渋川北群馬)	久米 正昭(伊勢崎)
	荒井 正一(館林)	黒沢 信元(利根沼田)	新井 和利〔富岡〕
	植田 暁(藤岡)	中沢 清(前橋)	斉藤 光弘(みどり)
	笹治 禮子(事務局長)	飯塚 実(審判部館林)	
	森 重雄(審判部太田)		

以上20名の委員が大会の企画・運営等で活躍して居り
特に開会式及び閉会式(表彰式)では 皆さんの協力のもと
素晴らしい式典になるよう 委員全員にて頑張っています

大会 結果

第35回群馬県選抜少年学童軟式野球大会
兼 第3回Gas Oneカップ学童軟式野球選手権大会群馬県予選会

上毛新聞敷島球場 西毛総合運動公園野球場
3月27日(土) 28日(日) 29日(月) 30日(火) 31日(水)



選手宣誓 富岡トエンテイズ 主将 大島 昌暉君

優勝チーム インディアンズ芳賀(前橋) が栄冠に輝いた

天皇賜杯第65回全日本軟式野球群馬県大会

4月17日～5月1日の間 渋川 あずま 大胡 富岡の各球場で行われ

優勝は 太田市役所(推薦) が昨年度に続き優勝し県代表となった

高円宮賜杯第30回全日本学童軟式野球大会
 マクドナルド・トーナメント群馬県予選大会
 兼 第33回関東学童大会東京新聞カップ予選会

4月24日～5月4日 前橋市民球場 大胡野球場

決勝戦は 城南ファイヤーズ(高崎) と 大間々東小リトルジャイアンツ(みどり) で争われ
 城南ファイヤーズ(高崎) が 優勝の栄冠を手にした

実業軟式

群馬県民体育大会2部・第65回国民体育大会県予選(A)

高松宮賜杯54回大会群馬県予選(B C)

日本スポーツマスターズ'2010群馬県予選(壮年)

平成22年5月29日～6月11日

前橋市民球場・高崎城南球場・西毛総合運動公園野球場

伊勢崎市あずまスタジアム・藤岡市民球場・桐生球場

渋川市総合公園野球場・伊勢崎市華蔵寺公園野球場

前橋市大胡総合運動公園野球場・館林城沼野球場

太田市運動公園球場・富岡市民球場



(選手 入場)



優勝旗・優勝杯 返還

A 太田市役所

B 東電群馬

C ギフト創造館クラブ

壮年 フォーティズ・クラブ壮年



選手宣誓

太田市役所 主将 織茂 修介

優勝をした チーム 県代表としての健闘を祈ります

A クラス 高崎市役所(推薦) 壮年 チームかついち壮年(桐生)

B クラス K・O・J・B嵐(桐生)

C クラス 理研鍛造(前橋)

栄えある受賞 おめでとうございます！

(永年の地域スポーツ発展に ご尽力され 県スポーツ発展にも
寄与され めでたく受賞されました)



平成21年度(財)群馬県体育協会会長賞
(スポーツ功労者賞)

有本 幸夫氏(前橋支部)

有本氏は現在は副理事長・兼総務委員長
及び前橋支部長として精力的に活躍中です



群馬県体育功労者賞
(群馬県教育委員会)

高地 康男氏(高崎支部)

高地氏は高崎支部で事務局長として
支部に大きく貢献され 現在なお
県連でも理事として頑張っておられます

一学童野球指導者からの意見

学童野球の日程について ひとこと
学童にとり 県大会は高校球児の甲子園大会と同じ位置づけの 最高の晴れ舞台であり
かつ あこがれで 各チームは県大会出場をめざして 日々努力しています
県大会に出場し 順調に勝ち進み 準決勝でエースを使い勝利し 決勝戦では
控え投手を起用し 残念ながら準優勝となりました エースは勝ちたい優勝したために
「投げさせてください」と言っておりましたが 私たち指導者として 未来のある子供に
無理をさせて故障させ将来を失わせる事は出来ないと思います
それが指導者の義務だと 思っています
是非とも学童野球の日程を再検討していただき 準決勝戦と決勝戦を別の日に
行ってもらうよう お願いします
未来ある野球少年に最高の舞台と 環境を与えてください
よろしくをお願いします

*** 支部 だより ***

平成22年度群馬県野球連盟前橋支部のオープニングセレモニーとして
2月28日(日)に前橋市民球場に於いて 学童野球チームと還暦チームが
親善交流試合を行いました

第一試合 (雨天につき中止)
第二試合 前橋選抜ジャイアンツ VS 富士見還暦
第三試合 前橋選抜スワローズ VS 宮城還暦

野球少年の孫と野球好きな爺ちゃんが 一つの白いボールを 追いかけて
楽しく充実した一日でした

県内 初の女子学童チーム誕生

前橋支部では 群馬県で最初の女子学童チームを結成いたしました
チーム名を「前橋ガールズ」と命名し 6月26日にユニホーム姿でお披露目しました
前橋ガールズは 8月7日埼玉県で行われる 第4回NPBCUP関東女子交流会
(第7回NPBCUP選抜学童軟式野球大会併設)に参加する予定で 富岡監督の下で
猛練習を行っています
皆様の応援をお願いいたします



参 考 国体監督義務付け指導員又はコーチ

日本体育協会では 平成25年の東京国体より 国体監督日本体育協会公認指導員制
完全導入となり 全軟連ではその前年 岐阜国体からの導入を目標にすると
指導者養成委員会にて決定されました
コーチ資格よりも受講生への受講に当たる負担が少なく より資格取得者及び
有資格者増に有効となります
公認軟式野球指導員 各都道府県の登録チーム 地域スポーツクラブ・サークルに
おいて 初心者や子供たちを対象に 軟式野球の基礎的実技指導にあたる指導者を養成
発育発達期に子供たち等にたいして 競技者育成プログラムに則り 様々な運動経験
と軟式野球を通した身体づくりと 動き作りを主眼においた指導に当たる

群馬県野球連盟
公式ホームページ

<http://www1.ocn.ne.jp/~gsbb>

編集後記

2010年度前期 県連8号をお届けします
ご意見 ご感想をお寄せください
誤字 脱字などお許しください